

かいりん

第79号
2017年5月1日発行
発行者 林 明夫
足利市堀込町 145
Tel 0284-72-5945

犯罪被害防止のために…知っていますか？「いかのおすし」

開倫塾では、塾生の犯罪被害を未然に防ぎ安全に生活を送るための合言葉として「いかのおすし」を全校舎で推進しています。ぜひご家庭でも一声おかけください。

犯罪被害防止のための 5つのポイント

合言葉は
いかのおすし



いか

いかない

★知らない人に道を尋ねられたり、写真を撮ってあげるなどと言われても絶対について行かないこと

の

のらない

★知らない人の車に絶対に乗らないこと
★誘いにのらないこと



お

おおごえをだす

★知らない人につれて行かれそうになったら、大声で叫んで助けを求めること



す

すぐにげる

★安全な場所へ走って逃げること



し

しらせる

★近くの大人や警察、家の人、学校に具体的な特徴を早く知らせること



- 誰とどこで遊ぶのか、いつ帰るかを言ってから出かけましょう。
- 寄り道をしないでまっすぐ家に帰りましょう。
- 自転車の二人乗り、無灯火での運転をしないようにしましょう。

高い倫理の育成を目指して—15の躰プログラム—

4月「くつを揃えよう」

- 玄関で靴を脱いだら、脱ぎっぱなしにはしていませんか？靴箱への靴の入れ方はどうでしょうか。靴箱に、靴は揃えて入れてありますか。
玄関はその家の顔にあたります。自分で脱いだ靴はきちんと揃え、お家の玄関や学校等では、誰の履物でも揃える習慣づけをしましょう。
- 靴を脱いだら、必ずチェック！
 - 普段からかかとを踏まないようにしましょう。
 - かかとを揃えて、靴箱に入れよう。
 - 玄関を上がったら、必ず脱いだ靴を手で揃える習慣をつけさせましょう。
 - 自宅の玄関や学校・塾など、どこでも実行できるようにしよう。
 - 上履きや運動靴などを定期的に洗っていますか。清潔に保つためにも手洗いを心がけましょう。

5月「授業終了後、椅子と机を整える。ごみはすべて持ち帰る」

- 塾の授業が終わった後、そのまま教室を出ていませんか？
塾の椅子や机は、皆さんの前にも、たくさんの塾生によって大切に使われてきたものです。使い終わったら、次に使う人への思いやりとして、椅子と机を整頓しましょう。また、ごみは必ず持ち帰りましょう。

6月「不要なものを捨てよう」 整理 (5S)



1. 「整理する」ということを教える

「整理」とは、要るものと要らないものを分け、要らないものを捨てることです。

しかし、「片付けのやりかた」や「物の捨てかた」は、大人がきちんと教えなければ、子どもが一人で身につけるのは大変難しいことです。はじめから子ども一人で「要る」「要らない」の区別を行うことはできません。

まずは机の上にある物を、大人が子どもの目線に立って一緒に判断をしてあげましょう。少し慣れてきたら、迷った時は自分がアドバイスすることを伝えて、様子を見守って下さい。また、きれいになった、片付くことは気持ちいいことだ、うれしいことだという認識ができれば、片付けの習慣も身につけやすくなります。

2. 2010年度より、開倫塾は「5S」運動を推進しています。

5 S	整理 (Seiri)	不要なものを捨てること
	清掃 (Seisou)	常にきれいにする
	整頓 (Seiton)	すぐ取り出せるようにすること
	清潔 (Seiketsu)	整理、清掃、整頓を維持すること
	躰 (Sitsuke)	決められたことを守ること